

12月定例会議 12月17日～20日

【定例会議のあらまし】

12月定例会議では、行政報告、条例の新規制定や改正、指定管理者の指定、一般・特別・事業会計の補正予算などが提案され、一部は総務産業常任委員会に付託し、全て原案通り可決しました。

また、町内・道外所管事務調査の結果報告をしたほか、5名の議員が一般質問を行いました。

《条例》

◆下川町産業振興基本条例

産業振興に関する基本方針や施策を定め、町の責務、事業者、経済団体等及び町民の役割を明確にし、産業基盤の安定と地域経済の活性化のための総合的な施策を講じるとともに、農業・林業・中小企業の全産業に共通する課題を一体的・連携して解決することを目的として、新たに条例を制定するものです。

質問 農業・林業・中小企業振興基本条例を一つにすることの効果はどうか。

答 本条例案を諮る審議会は、今まで6回実施されたが、農業・林業・中小企業それぞれの審議会の委員からは、「一つの審議会にすることで各業界の理解が深まる」などの意見があった。

意見 新条例の制定にあたっては、議会での審査をより充実したものとするためにも、早期に情報提供をしていただきたい。

◆下川町バスターミナル合同センター及び下川町にぎわいの広場他9件の指定管理者の指定について

・下川町バスターミナル合同センター及び下川町にぎわいの広場
・下川町一の橋コミュニティセンター

・下川町まちおこしセンター
・下川町木質原料製造施設
・下川町営サンル牧場
・下川町五味温泉
・下川町環境共生型モデル住宅

・下川町宿泊研修交流施設

・下川町地域間交流施設

・下川町体育施設及び桜ヶ丘公園等
(指定の期間…令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間)

意見 「下川町指定管理者候補者の選定に係る選定書」が補助説明資料として提出されたことは評価できる。賃金や物価高騰に伴う指定管理料の増額については、行政側も適切な執行であるか管理監督をしていただきたい。

《補正予算》

◆一般会計補正予算(第5号)

緊急を要するもの、事務事業の確定及び見込み等に係るものの補正予算が提案され、本会議において審議を行いました。

主な内容は、
・自治体DXを推進するための人材が受け入れに至っていないことに伴うもの 560万円減額
・経済的負担の軽減を図るための

福祉灯油等助成事業
(一世帯…100円相当支援)
350万円増額

・民間賃貸住宅建設等促進事業に応募がなかったことに伴うもの
3,500万円減額

質問 DX推進のための人材や地域おこし協力隊員が確保できなかったことに対し、今後の対策をどのように考えているのか。

答 一般財団法人しもかわ地域振興機構との連携を強化するとともに、より一層人材募集PRの強化に努める。

質問 住宅不足の解消や地域経済の活性化などを目的に本年度から3年間の時限措置で実施され、応募がなかった民間賃貸促進事業について、次年度以降のPR方法などはどのように行うのか。

答 今年度は、教職員住宅の建設などがあり、対応できる建設業者がなかったと認識しているが、次年度以降も建設業者の状況を把握しながら、その手を緩めることなく、事業を進めていく。